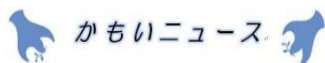


司会 ① 惣川 宜靖 ② ナバーロ ホアン

プレイズ		
黙祷/祈禱		(司会者)
主の祈り		(起立)
聖書	使徒行伝 21 章 27-40 節	
誕生祝福		
メッセージ	神の指(Fingerprints of God)シリーズ 95 柴田 順一 牧師 「パウロの沈黙・驚くべき神の計画」"The Arrest"	
祈禱		
頌栄	あめつちこそりて[讚美歌 539]	(起立)
祝禱		(牧師)



- ◇ Welcome Home! 本日の YC カフェは第 1 礼拝後のみオープンします。
- ◇ マンデリンブレンド アッサムティー [各¥100]
- ◇ 礼拝後に短い「感謝報告会」があります。教会員以外の方も参加できます。
- ◇ 来月3/3(日)「春の音楽礼拝」ゴスペルピアニスト・米田香さんがゲストです。ご家族/ご友人をお誘いしましょう♪来週、招待券が届きます。
- ◇ 木曜発行のタウンニュース「心のエステ」2月号が届いています。ご自由に!
- ◇ 礼拝献金、什一献金等は、受付前の木製献金箱をご利用ください。

集会 & ミーティング	本日 10:30~	キッズチャーチ	4F 集合
	本日 12:00~12:35	聖書入門クラス	5F
	本日 14:30~15:30	執事会	5F
	水曜 19:30~20:30	バイブルラウンジ	4F

アクティビティ	火曜 10:00~12:00	子育て広場プレイルーム	5F
	土曜 13:30~14:00	礼拝堂お掃除	4F 集合

33 千卒長は近寄ってきてパウロを捕え、彼を二重の鎖で縛っておくように命じた上、パウロは何者か、また何をしたのか、と尋ねた。  
34 しかし、群衆がそれぞれ違ったことを叫び続けるため、騒がしくて、確かなことがわからないので、彼はパウロを兵營に連れて行くように命じた。  
使徒行伝 21章33-34節

## 「最期のあなたへ」



1974-1975年、東アジア反日武装戦線メンバーとして連続爆破事件に関与し、49年間の逃亡生活を続けていた桐島聡容疑者(70)が県内の病院で、桐島聡本人であることを自ら告白して死亡した。多くの命を奪い、愛する家族を悲痛の底に陥れた彼のしたことには同情の余地もないが、半世紀に渡り偽名を使い、自分ではない他人として逃亡潜伏に成功した者が、なぜ最期に告白して身を明かしたのであるか? ニュース番組で心理学者が、「最後は逃亡生活の極度の重荷から逃れたいと思うもの」と解説されたが、彼は、「最期は本名で迎えたい」と語り、「後悔している」と公安の任意聴取に答えたと言う。長く彼の魂を苦しめていたのは、単に逃亡生活の重荷や疲れだけであったのだろうか。

「後悔している」「最期は本名で迎えたい」という彼の告白に、人としての魂の叫びを聞いたような気がする。真実で愛なる神に創られた人間は、自分を捨てて、自分を偽り、自分でない誰かを演じて生き続けること、そして、そんな偽りのまま死を迎えることはできないのではないだろうか。この世界で最後まで逃亡潜伏ができたとしても、自分の犯した罪に最後まで逃げ隠れることができないのが、神に創られた真の人の姿ではないだろうか。一人寂しく苦しんで死んでいったそんな彼に、それでも失われてはいない主の愛と赦しとを伝えてあげたかった…。最後まで戻って来ないことを知っておられながら、ユダを最期まで愛し続けたキリストの心の深き痛みを、この身に覚えるのである。

どれほど年月が過ぎ去ろうが、罪は加害者や被害者、彼らを愛する者をどこまでも悲しめ痛み苦しめ続けるのである。しかし同時に、神の愛と赦しにも時効はない! 犯罪の犠牲となられた方々とそのご家族に、神の深き恵みと憐みを祈ります。そして、もし許されるならば、逃げ隠れする偽りの自分に終止符を打ち、ひとり本当の自分として死ぬことを願った者にも、神の恵みを祈ります。

## 今週の聖書通読【マルコによる福音書】リビングライフ2月号

04 日	12:1-12	ぶどう園の主人と悪しき農夫たち
05 月	12:13-27	税金に関する論争
06 火	12:28-34	律法学者の賢い答え
07 水	12:35-44	キリストとダビデの子
08 木	13:1-13	福音宣教と終わりの時
09 金	13:14-27	恐ろしい苦難の日
10 土	13:28-37	いちじくの木 of 訓戒
11 日	14:1-11	香油の壺を割った女

